

さいと 市議会だより

第 98 号

令和元年 11 月 1 日発行



←新庁舎東側外観イメージ

↑西側からの現況写真

新庁舎建設が始まります！

令和3年3月の完成を目指し建設工事が始まります。

●9月定例会の概要●

令和元年第4回定例会は9月2日に招集。10月1日までの会期で、市長提出議案44件、議員提出議案1件、報告案件4件について審査を行いました。

その結果、市長提出議案44件、議員提出議案3件は原案可決（教育委員会委員の任命については同意、人権擁護委員候補者の推薦については適任、平成30年度決算に係る14件については認定）としました。

主な掲載内容

◎一 般 質 問	・ ・ ・	P 2	～	7
◎議案審議結果	・ ・ ・	P 7	～	8
◎委員会審査報告	・ ・ ・	P 9	～	10
◎決算特別委員会審査報告	・ ・ ・	P 10	～	12
◎編集後記	・ ・ ・	P 12		

次のページから

一般質問

9月9日～11日に11名の議員が登壇し、市長の政治姿勢をはじめ、新庁舎建設、新病院建設、農業行政、防災対策、教育行政など、市政全般にわたって質問を行いました。

行政サービス・ふるさと納税・奨学金制度について



新風会
山地 将生

問① 職員の行政サービスへの姿勢について市長の考えを伺いたい。
答 職員には、市民目線での対応をお願いしている。

問② 事業数を現状維持した場合、職員の市民への対応能力の向上や新たな市民のニーズに応える事は可能なのか伺いたい。
答 対応能力の向上には、職員の意識改革や各種研修等の実施で対応していきたい。新たなニーズへの対応には、既存事業の見直しも必要になってくると考える。

問③ 市民にとって、必要な事業と継続の効果を期待されにくい事業とを一度整理してみても考えるが、市長の見解を伺いたい。
答 毎年事業評価を行い、適正な事業運営を行っている。今後も効果的な事業運営を目指していく。

問④ ふるさと納税事業の宣伝方法について伺いたい。
答 市ホームページからふるさと納税サイトへの誘導を行っている。

問⑤ 県外の宮崎県人会等には行

かれているのか伺いたい。

答 10月に福岡の宮崎県人会へ市長が出席予定となっている。また、東京、大阪、福岡にある西都会へは毎回出席している。

問⑥ 今後の宣伝計画を伺いたい。
答 寄付者の間口拡大に向けて、新たなポータルサイトとの契約準備を進めている。

問⑦ ふるさと納税制度自体の認識を広める説明会や活動を行い、本市のふるさと納税サイトを紹介してはと考えるが見識を伺いたい。
答 この方法へ取り組むべきかどうか検討させて頂きたい。

問⑧ ふるさと納税サイトの使途項目の名称を変更してはと考えるが、市長の見解を伺いたい。
答 この提案へは、内容を確認して検討させて頂きたい。

問⑨ 西都市奨学生定住促進補助金制度の利用状況を伺いたい。
答 昨年度の実績は4名。奨学金制度への問い合わせも増えており、本制度への関心は高いと考える。

問⑩ 本制度に期待されている効果について教育長に伺いたい。
答 西都で学んだ子供達が市内に定住し、地域が活性化することを期待している。経済的な理由が子供の進学を妨げない様、今後とも本制度の周知を図りたい。

農業振興の担い手対策と有害鳥獣対策について



新緑会
村上 修乗

問① 今年度に発効された「農林行政の方向」で担い手対策が示されているが、どの様に進められているのか、市長の考えを伺いたい。
答 担い手対策は本市の基幹産業である農業振興のためには重要な取り組みであり、確保、育成、大規模化・組織化を一体的に取り組むことが必要であると考える。担い手確保の取り組みについては、就農支援部会を中心に一貫した就農支援体制を確立する必要がある。

育成については、認定農業者を中心に各種研修への支援を行い先進的な生産技術や経営能力の向上や農業者間の情報共有につなげ、地域のリーダーとなっていたり、取り組みが必要である。

問② 後継者がいないために失われてしまう資産や技術を承継出来る様な仕組みが出来ないものか市長の見解を伺いたい。
答 高い技術や資産が失われることは、農業を振興していく上で大きな損失になると考える。まずは、

農業継続の意向を調査することにより農業を辞める予定がある方を早めに把握し、県の農業経営資源承継モデル構築事業等を活用しながら就農希望者とのマッチングを図っていくことで、円滑な承継に繋げていきたいと考える。

問③ 就農支援に関するコーディネーターの設置への検討について伺いたい。

答 経営技術部門に関して、市内の先進農家での技術研修の実施及びJAトレニングセンターにおける技術指導員の配置にて専門的な技術指導を行っているが農地確保等における部門については、現在配置をしておらず、就農支援部会や農業委員会を中心とした情報収集等による支援を行っている。今後、就農支援体制の在り方について全体的な見直しを図っていく中で専門のコーディネーターの設置についても検討を行っていく。

問④ 有害鳥獣対策の一つとしてジビエ加工場を建設できればと考えるが市長の考えを伺いたい。

答 本市において、西都地区猟友会役員と検討したが運営する人材確保が困難であることや西米良村に加工場があること等を考慮して、本市での建設は予定していない。

安全・安心で誇りを持てる西都市
づくりについて



創生会
米良 弥

問① 消費増税に対する市長の見解と市施設手数料等の増額、並びに幼児教育・保育無償化の取り組み状況と給食費への支援について伺いたい。

答 消費増税は市民生活に大きな影響があると考えるが、急速に進む少子高齢化に対応するためには理解が必要と考える。また、市施設手数料等は消費税改定に伴う増額分のみである。幼児教育・保育無償化の対象は22施設、693人が対象となっており、無料化による入園者の増加は見込まれない。給食費に対する支援は、現行対策以上には考えていない。

問② 行政サービスに対する市民の不満や苦情を多く聞くが、市長の認識と今後の取り組みについて伺いたい。

答 行政サービスは市民目線で考え、行動することが重要と指導しているが、指摘されたことについては重く受け止めている。今後は

さらに適切な対応ができるよう意識改革・体制整備を行うとともに、新庁舎では窓口サービスのワンフロアー化を図り、市民の利便性向上に努める。

問③ 災害発生時における避難所の設置場所や運営方法について伺いたい。

答 避難所の設置については、災害の状況に応じて設置する様になっている。運営については、職員2名を配置し、高齢者や要支援者などに配慮した運営に努めている。災害時の市民の安全確保は、市の責務であるので避難所の適切な設置と運営に努める。

問④ 中山間地域の交通弱者対策と市街地周辺における循環型交通網整備について伺いたい。

答 中山間地域の対策については具体策までには至っていない。今後関係機関と連携して検討していく。市街地周辺の循環型交通網については、いろいろな制度の活用方法を検討していく。

問⑤ 市内の伝統文化等を地域住民の誇りとして掘り起こし、育てる取り組みについて伺いたい。

答 銀鏡神楽や吉田盆踊りなど伝統文化の保存や市民への公開講演などの取り組みについて、各団体と意見交換してまいりたい。

地方創生・新庁舎建設・ふるさと納税・新病院建設について



令和の会
太田 寛文

問① 地方創生に伴う「さいと未来創生総合戦略」最終年度にあたり、成果と今後の課題等について伺いたい。

答 施策単位で見ると、移住件数が目標年間10件に対し昨年度が22件で、誘致企業数は、目標26社に対し34社で目標には達している。しかし、人口の面では、自然動態等により歯止めはかかっている。

問② 庁舎建設については、順調に進んでいる様であるが、市民に親しまれる施設となるため、市民への現地説明会等による周知はどのようにするのか、伺いたい。

答 安全を確保したうえで、時期等を調整し実施したい。また、進捗状況については、適宜ホームページ等でお知らせしていきたい。

問③ ふるさと納税の対応について、伺いたい。

答 今年の4月から返礼割合を3割にするなど基準の見直しをなさ

れた。今後は、本市の魅力と地場産品を掘り起こし、寄付募集を行う新たなポータルサイトとの契約を検討している。返礼品参加者は、41社で、今後とも新規登録者の確保を継続して取り組んでいく。

問④ 将来の農業を考えた場合、10a区画の再整備は必要不可欠と考えるが状況について、伺いたい。

答 戸敷・川久保地区の約81ha構想設計を行っている。昨年度から説明会を行い、地権者の理解を求め、事業推進を図っていく。

問⑤ 西都児湯医療センター新病院建設について、医師会と医療センターとの調整状況と事業主体がどこになるのか、伺いたい。

答 医師会と医療センターについては、事業の進捗状況に合わせて随時、協議や報告をしている。用地取得までは市が行い、その後はセンターが行うことになる。



新庁舎の外観イメージ

民間資金を活用した施策と体育館の暑さ対策について



公明党
曾我部貴博

問① 公共施設の毎月のランニングコストは、市が負担していくことになる。その電気料金を抑制するものとして「空調管理システム」があるが、導入する考えはないのか伺いたい。

答 空調管理システムの導入に関しては、研究を進めて参りたい。

問② 行政の立場として、地球環境保全に向けての自主的な取り組みを具体的に伺いたい。

答 庁内エアコンの調整や昼休み時間の消灯、また西都児湯クリーンセンターで毎年2回開催される環境フェスタでは、小学生に対する環境ポスターの作成依頼や県との連携を図り、4R推進の啓発や食品ロス削減の情報発信を行っている。

問③ 今後、公共施設等の照明機器をLEDに取り替える場合、新たな予算措置を必要としないリース方式でLEDに取り替え、更なる経費削減に取り組むべきと考えるが見解を伺いたい。

答 経費削減のため、他市の状況を参考にするなど導入については研究して参りたい。

問④ 昨今の猛暑により、体育館での授業や部活動中に熱中症にかかる生徒が急増。体育館の暑さ対策も急務の課題と考えるが見解を伺いたい。

答 体育館を使用する場合における熱中症の危険性は高くなっている。各学校において児童生徒の体調に十分に留意し、必要な場合は教室等での活動に切り替えるなどにより対応は可能だと考える。

問⑤ 災害発生後に空調設備が整っていない体育館で、多くの市民が避難所生活を余儀なくされ、一時的であれ熱中症等の健康への影響が懸念される。スポットクーラー等の活用が適当であると考えが見解を伺いたい。

答 体育館の熱中症対策として、スポットクーラーは有効と考えるが、費用面や耐用年数等を考慮すると全ての避難所への導入は困難と考える。避難所の数、スペースを考えると、安価で空調効果がある程度望める送風機の活用を検討したい。

人口減少・高齢社会について



創生会
濱砂 磐

問① 人生100歳時代を迎え市民の健康対策と介護や医療費の増加が懸念される。健康アンバサダーやスマートウェルネスシティ構想など新潟県見附市の市民の生涯を通じて健やかで豊かな「生きがいづくり」支援の取り組みが参考になると思うが市長の見解を伺いたい。

答 市民の皆様が関心を持つて自主的に運動や地域活動に関与される事が大切である。市健康管理課・福祉事務所・スポーツ振興課・市民協働推進課・社会教育課等や市民活動団体と連携し市民が参加したくなるイベント開催に努める。また、スマートウェルネスシティ首长研究会に加盟し先進自治体の情報収集に努める。

問② 所有者長期不在により、管理されず老朽化した空き家や、崩壊等の危険性や防犯・火災及び周辺への環境保全の観点から空き家の対策が求められている。そこで、

老朽化した空き家対策の進捗状況と市所有廃棄予定施設の処分について伺いたい。

答 昨年度委託により外観調査を実施し279件確認しているが、全てを把握しているとは言えない。今後は、地区住民からの個別情報を基に職員による所有者特定に努めるが、事業執行には所有者死亡・不明等により相続権利者確認に時間を要する。現時点までに住宅等除去事業の相談を24件受けている。廃校や統合等により未使用建物で活用困難施設は、撤去及び跡地活用・処分を含め検討し、財政面も考慮し計画的に促進する。

問③ 市道・林道等生活道沿いの放棄竹林対策について、材価低迷で所有者負担による適正管理は期待できず、風倒木発生による通行止めが長期になる場合があるが、その対策を伺いたい。

答 台風等による風倒木発生により通行止め除去は、建設業者・森林組合等と事前に災害協定を締結し対策に努めている。遮断が懸念される箇所は所有者に個別にお願いしている。市管理道路は681km有り全ての管理は困難であり、今後は森林環境譲与税活用など国・県の制度事業活用を検討し研究に努める。

介護認知症対策と財政見通しについて



西興会
北岡 四郎

問① 介護及び認知症対策について、2025年問題、団塊の世代が75歳後期高齢者になり介護者・認知症者も増加する。その予防対策について伺いたい。

答 介護予防事業として「いきいき百歳体操事業」認知症予防対策については、社会的に検証・立証が確立されたものがないが、脳が活性化することで予防につながると言われていることから「認知症カフェ」の運営に取り組んでいる。

問② 高齢者が、社会的孤立にならない為に居場所づくりが必要である。街の中に健康マージャンが出来る場所がある。認知症介護予防の観点から、杉並区、品川区、千葉市他などが講座を設け運営している。街中の活性化にも繋がると思うが市長の見解を伺いたい。

答 「賭けない、飲まない、吸わない」の「健康マージャン」は介護認知症予防のみならず、街の活

性化に繋がることも期待できるので検討してまいりたい。

問③ 西都市における総人口の長期的推移、推計について伺いたい。

答 国勢調査がスタートした大正9年が3万3291人、昭和35年が5万948人をピークに減少に転じ、平成27年の人口は3万683人である。国立社会保障・人口問題研究所が昨年3月に公表した将来推計人口2045年では1万7797人である。

問④ 今後10年間にける大型事業の総額は概算で122億円、自然災害、2025年問題、人口減少に伴い自主財源も減少していくが、財政の見通しについて伺いたい。

答 自主財源比率40・6%経常収支比率94・8%で財政基盤が脆弱であり、かつ硬直化している。今後新庁舎、新病院建設など大型事業が見込まれることから引き続き厳しい財政状況が予想される。



健康マージャン啓発ポスター

農業振興、商工観光振興、西都児湯医療センターについて



新緑会
岩切 一夫

問① 家畜伝染病について、平成22年に本県で発生した口蹄疫では家畜の尊い命が犠牲になり畜産業のみならず、地域経済に甚大な影響をおよぼした。終息から8月27日で9年が過ぎ、来年は節目の10年目を迎えるが、家畜の慰霊である畜魂式をしてはいかがと考えるが見解を伺いたい。

答 終息後10年目にあたる来年については、慰霊のあり方などを関係機関、団体と協議していききたい。

問② 市街地での観光による具体的な経済効果についてグリーン・ツーリズムにおいて複数泊滞在される場合、一度でも市街地の飲食店で食事をするなど連携が図れば、より経済効果が得られると考えるが見解を伺いたい。

答 西都市グリーン・ツーリズム研究会と協議の上、受け入れに際しての様々な連携等について前向

きに検討していきたい。

問③ 医療センターを郊外に建設すると、道路改良など附带工事が必要になり相当な経費が発生すると答弁されたが、ボウリング場周辺は土地の取得と解体とある。それでも郊外の方が、経費が掛かるのか伺いたい。

答 現在、業者選定の段階であり、鑑定評価を行わなければ土地の価格は分からない。

問④ 市民が、本当に望んでいる新病院建設に十分な用地があるならば良いと思うが、少なくとも市長の一人の考え、声の大きい方達だけの思いを進めていくのなら、首長として、非常に残念な事だ。市長のよく言う「市民の声を最優先とする市政」を心に留めて、新病院建設を進めて欲しいが、考えを伺いたい。

答 新病院についても、市政の方針と同様に、市民の皆さん方に喜んで貰えるように病院造りを取り組んでいきたい。

人口増、学力向上、武道必修化、新病院等の未来デザインについて



新緑会
橋口登志郎

問① 人口対策について伺いたい。
答 出生者を増やす取り組み、移住・定住の取り組みが重要である。

問② 西都には弥勒先生の「誕生の木」という新たな命の誕生を祝う素晴らしい絵がある。西都市独自の誕生を祝い、他市と違う子育てサービスについて伺いたい。

答 新生児に本を送る「ブックスタート制度」を2006年から取り組み、喜んでもらっている。子育てサービス等研究していきたい。

問③ 移住定住のためには、小児救急の充実が不可欠だと考えるが、西都市の取り組みを伺いたい。

答 同意であり課題と考え、情報収集や相談などを行っている。

問④ 移住を図るには、西都独自の行政主導の住宅地施策が必要と思う。特に妻南地区は有望であり、産業専門校の南側の市有地など住宅地として転用してはどうか。

答 法的には問題ない。商業地や学校も近く子育てに適した環境だと考えるので活用法の一つとして

検討したい。人口増にはあらゆる手段を検討すべきと考えている。

問⑤ 学力の高い地域が、移住定住に望まれるが見解を伺いたい。

答 教員の指導技術や専門性向上の研修会を行っている。学校・家庭・地域が、役割分担し教育環境がさらに育っていけば「西都で学ぶ」ことがブランドとなり本市の魅力に繋がると考える。

問⑥ 武道必修化における空手道の採用について伺いたい。

答 現在は、採用していない。課題はあるが問題点はない。

問⑦ 新病院予定地を伺いたい。

答 ボウリング場及び南北の農地を予定している。

問⑧ 基本構想ができ庁内協議が開催され、その時に赤池が最適であると結論が出たと伺ったが、今回の候補地になった理由を伺いたい。

答 アクセスが良い、市役所に近い、附帯工事が抑えられるなど有利であると考えている。

問⑨ まず市民の声を聞いて欲しかったし、何より三位一体で進めると言われていた。新病院を運営するのはセンターで、センターとの話し合いを伺いたい。

答 建設事業の理解と、事業を一緒に進めていきたいと伝えている。

高齢者対策・子育て支援対策について



信の会
田爪 淑子

問① 防災対策について、高齢者や介助が必要な方の避難誘導はどのような手順で、誰がその役割を担うのかお尋ねしたい。

答 自主的に避難できる方は、早めの避難行動をとっていただく事とし、介助が必要と登録されている方は、民生委員や消防団等の地域の方が避難所へ送り届ける事になっている。

問② 新しく作り直される防災マップは使いやすいものとなるのか、予算はいくらになるのかお尋ねしたい。

答 西都市全域と各地区別に作り、300万円を予定している。

問③ 交通弱者対策についての取り組みをお尋ねしたい。

答 バス停までの移動困難者に対する課題に対して「宮崎県高齢者移動手段確保等協議会」が設立され、県と市町村、警察等と取り組んでいく。

問④ 光ケーブル（ブロードバン

ド）の導入は防災無線や防災ラジオが聞こえにくい地域への対策となるのか、又、導入はどのように進められるのかお尋ねしたい。

答 防災行政無線は受信の改善を図る対策として設備更新工事を実施する事とし、中尾地区に携帯電話等エリア整備事業を実施する。光ケーブルは市全域にブロードバンドの敷設を4カ年程度で進める予定で、始めに局舎の改修と三財地区、都於郡地区、三納地区と進めていく事とする。

問⑤ 地域づくり協議会活動が地域住民の期待する活動になる為の方策をお尋ねしたい。

答 地域に密着した活動を目指し、自治公民館等、他の団体と協力・連携を進められるよう助言していきたい。

問⑥ 子育て支援として、障害児（身体・発達）保育に取り組んでいる施設があるか、お尋ねしたい。

答 公立保育所1カ所、法人保育園4カ所、認定こども園が4カ所取り組んでいる。

問⑦ 保育料の無償化に伴い、西都市に財政的な負担があるのか、お尋ねしたい。

答 保育料無償化の費用は、国が2分の1、県と市が4分の1の財源を負担する事となる。

医療センター新病院建設計画と
国保税の負担軽減対策を



日本共産党
狩野 保夫

問① 医療センター新病院建設計画に対する決意と課題について。
答 新病院建設計画は課題であった建設場所を「妻地区（現西都児湯医療センター周辺）」とする市としての方針を決定し、病院事業債の申請書も国のヒアリングで事業計画が5月30日に了承された。これまでの経緯と進捗状況を踏まえた上で新病院建設に向けた決意と当面する課題について伺いたい。
答 新病院建設は、多くの市民の願いであり、療養環境に優れた新しい病院を一日でも早く開院できるように最善を尽くす覚悟である。当面の課題として最優先すべきは、用地の確保だと考えている。
問 用地取得の感触は。
答 想定しうる地権者に感触を当たり一定のご理解を得ることができたと考えている。
ハ 9月3日に開催された予定地周辺の説明会開催に対する評価は。
答 建設場所に対する市の方針を

説明した。参加者が少なかった事は残念であったが、たくさんの方の意見をいただき有意義な説明会であったと認識している。

二 市民全体の説明会開催計画は。
答 9月議会終了後に開催できるよう調整を行っている。

問② 10月の消費税増税に対して不安と批判、反対の声が寄せられている。基本的見解を伺いたい。
答 市民生活に大きな影響があると考えているが、急速に進む少子高齢化に対応するためには理解をしながらはならないと考えている。

問③ 高齢化社会への交通弱者・交通安全対策として安全サポート車購入・整備への支援、乗合いタクシーの全市を視野に入れた路線拡充対策について見解を伺いたい。
答 安全サポート車購入・整備への支援については、国の動向を注視し検討したい。乗合いタクシーの全市域への拡充は、乗車人員に限られることから現時点においては難しいと考えている。

問④ 国保税の減税対策、子育て支援対策として、子どもにも課税される「均等割」を廃止することに対する見解を伺いたい。
答 国は「子どもの均等割の今後のあり方について議論する」としているので動向を注視したい。

議案審議結果

第4回定例会（9月2日～10月1日）で審議された議案の概要と結果
●全会一致で可決
■賛成多数で可決

条例関係

- 第69号 西都市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について
- 第70号 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 第71号 西都市森林整備等基金条例の制定について
- 第72号 消費税及び地方消費税の税率改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 第74号 西都市勤労青少年ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 第75号 西都市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 第76号 西都市奨学資金貸付条例の一部改正について

予算関係

- 第106号 西都市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正について
- 第77号 令和元年度西都市一般会計予算補正（第6号）について（農林水産業費に林業・木材産業構造改革事業補助金、2億6398万3千円を増額補正）
- 第78号 令和元年度西都市一般会計予算補正（第7号）について（衛生費、教育費など、総額16億2667万4千円を増額補正）
- 第79号 令和元年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正（第2号）について（基金積立金など、総額3455万5千円を増額補正）
- 第80号 令和元年度西都市営住宅事業特別会計予算補正（第1号）について（住宅費から822万4千円を増額補正）
- 第81号 令和元年度西都市介護保険事業特別会計予算補正（第1号）について（諸支出金など、総額1億5283万5千円を増額補正）
- 第82号 令和元年度西都児湯障害認定審査会特別会計予算補正（第

1号)について(諸支出金など、総額44万1千円を増額補正)

●第83号 令和元年度西都市後期高齢者医療特別会計予算補正(第1号)について(後期高齢者医療広域連合納付金など、総額172万5千円を増額補正)

●第84号 令和元年度西都児湯いじめ問題対策専門委員会特別会計予算補正(第1号)について(諸支出金など、1万4千円を増額補正)

●第85号 令和元年度西都児湯いじめ問題調査委員会特別会計予算補正(第1号)について(諸支出金など、総額3万4千円を増額補正)

●第86号 令和元年度西都児湯公平委員会特別会計予算補正(第1号)について(諸支出金など、総額3万2千円を増額補正)

●第87号 令和元年度西都市簡易水道事業会計予算補正(第1号)について(企業債償還金など、総額302万3千円を増額補正)

●第88号 令和元年度西都市公共下水道事業会計予算補正(第1号)について(施設建設改良費など、総額1951万円を増額補正)

●第89号 令和元年度西都市農業集落排水事業会計予算補正(第1号)

について(企業債償還金など、総額215万8千円を増額補正)

●第107号 令和元年度西都市一般会計予算補正(第8号)について(議会費に事故賠償金など、総額221万円を増額補正)

決算関係

●第92号 平成30年度西都市一般会計歳入歳出決算について

●第93号 平成30年度西都市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について

●第94号 平成30年度西都市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について

●第95号 平成30年度西都市下水道事業特別会計歳入歳出決算について

●第96号 平成30年度西都市営住宅事業特別会計歳入歳出決算について

●第97号 平成30年度西都市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について

●第98号 平成30年度西都市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について

●第99号 平成30年度西都市西米

良村介護認定審査会特別会計歳入歳出決算について

●第100号 平成30年度西都児湯障害認定審査会特別会計歳入歳出決算について

●第101号 平成30年度西都市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について

●第102号 平成30年度西都児湯いじめ問題対策専門委員会特別会計歳入歳出決算について

●第103号 平成30年度西都児湯いじめ問題調査委員会特別会計歳入歳出決算について

●第104号 平成30年度西都児湯公平委員会特別会計歳入歳出決算について

●第105号 平成30年度西都市水道事業会計決算について

その他

●第67号 教育委員会委員の任命について

篠原 剛氏(新任)
●第68号 人権擁護委員候補者の推薦について

児玉 邦昭氏(再任)
●第90号 市道路線の廃止について(新庁舎建設事業に伴う市道路線

の廃止)

●第91号 市道路線の認定について(新庁舎建設事業による起点の変更に伴う、変更後の起点での市道路線の認定)

●第108号 高規格救急車購入に伴う売買契約の締結について(指名競争入札に付した高規格救急車の購入についての売買契約の締結)

●第109号 西都市新庁舎建設事業 建築主体工事請負契約の締結について(条件付一般競争入札に付した西都市新庁舎建設事業 建築主体工事について)

●第110号 西都市新庁舎建設事業 電気設備工事請負契約の締結について(条件付一般競争入札に付した西都市新庁舎建設事業電気設備工事についての工事請負契約の締結)

●第111号 和解及び損害賠償の額を定めることについて(宮崎空港施設内で発生した接触事故に関する和解及び損害賠償の額について、議会の議決を求めるもの)

議員提出議案

●第3号 国土強靱化対策の推進を求める意見書の提出について

議案等の審査

総務常任委員会

今期定例会において、総務常任委員会に付託されました議案6件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

議案第69、70、72、78、85、86号、これらの議案6件については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

文教厚生常任委員会

今期定例会において、文教厚生常任委員会に付託を受けました議案8件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

議案第75、76、78、79、82、83、84号、これらの議案7件については、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、議案第76号の審査の過程に

において、ある委員より、「国は、令和2年度から奨学金制度を新しくするが、利用できる人は住民税非課税等で限定されており、国の制度は学びたい人すべてが利用するには不十分である。お金の有る無しに左右されることなく、経済的に困難な若者でも大学に進学できるよう市独自の給付型奨学金を創設されることを条例改正に当たって要望したい」との意見・要望がなされました。

次に、議案第78号については、ある委員より賛成討論があり、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、ある委員より、「令和2年に開催される国民文化祭・障害者芸術文化祭が、地域や分野、世代を超えた幅広い交流の輪が広がり、地域の伝統芸能や文化を見つめ直すことによって、これからの西都市の文化・芸術の振興と発展へつながる事業として取り組まれること、そのためにも、その企画・運営に当たっては、多くの団体、個人の参加のもとで進められることを要望したい」、「今年度のロード

レース大会は中止ということだが、新年度開催に当たっては各種行事との日程調整を図っていただき開催されることを要望したい」、「西都原運動公園野球場改修工事費は国庫補助があるとはいえ、多額の一般財源を必要としているので、事業推進に当たっては慎重な対応とともに、工事発注に当たっては地元業者優先を要望したい」、「本年度予定した部

活動指導員や学力向上に係る非常勤講師が確保できず予算が減額されていることは残念である。本市教育行政を推進するためにも人材確保と予算確保に努力されることを要望したい」、

またある委員より、「医療センター建て替えによる移転予定地の不動産鑑定評価業務委託料として、1678万7千円が提案されている。このことに対しての異論はないが、土地、上物含め安価なものではないと思う。今回の鑑定評価を終え、費用対効果、利便性、機能性等を含めて果たしてこの場所が適当な場所なのか、安い郊外の土地ではないいけないか、しっかりと精査、協議を重ねて

いただきたい。また、市民にとってより良い病院として、そこで働くスタッフにも理解を得られるような判断をしていただきたい」との意見・要望がなされました。

次に、議案第79号の審査の過程において、ある委員より賛成討論があり、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第81号については、種々質疑の後、ある委員より、「高い介護保険料の負担を求めながら、基金を増額することには賛成できない」との反対討論がなされましたが、採決の結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

産業建設常任委員会

今期定例会において、産業建設常任委員会に付託を受けました議案9件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

議案第71、74、78、80、87、88、89、90、91号のこれら議案9件に

つきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、議案第78号の審査の過程において、ある委員より「委員会の審査において、所管課におかれては議案の内容、財源の内訳をしっかりと確認した上で委員会に臨んでいただくよう強く要望したい」

また、ある委員より「商工費に個人番号カード利用環境整備事業が計上されている。これは、マイナンバーカードを活用したマイキープラットフォームを利用するとの説明であった。この事業を進めるにあたっては、加盟店及び利用者が混乱することがないよう、住民視点での分かりやすい説明と環境の整備をお願いするとともに地域経済活性化の期待に応えられるよう情報収集等しっかりと調査研究を進めていただきたい。また、全国的にマイナンバーカードの交付率が伸び悩んでいる理由の一つは、マイナンバーカードを利用する場面が限られていることや個人情報保護する仕組みについて十分に理解を得られていないことが挙げ

られる。このことは本市にも当てはまることであるので、これを機に、マイナンバーカードの利用場面の拡大に繋がるよう取り組んでいただきたい」との意見・要望がなされました。

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会に付託されております平成30年度決算議案14件について、議案第92、94、95、97、98、101、105号、この7件の議案については、採決の結果、賛成多数をもって、認定すべきものと決しました。

また、議案第93、96、99、100、102、103、104号、この7件の議案については、採決の結果、全会一致をもって認定すべきものと決しました。

なお、採決に際して、次のような討論がなされましたので申し上げます。

まず、議案第92号について、ある委員より、「第1は、昨年の決算委員会でも問題になった社会福祉協議会職員が懲戒解雇処分を受けた問題

が、いまだ解決せず、そのことによつて、30年度決算においては、社会福祉協議会における法人後見事業が実施されない事態となっていること。第2は、公共料金へ消費税の転嫁をしていること。第3は、西都市に逆差別、不公正な行政を持ち込み、その影響を今でも引きずっている同和関連の予算が支出されていることから認定に賛成できない」

次に、議案第94、95、97号について、ある委員より、「使用料等において、消費税が転嫁されているので認定に賛成できない」

次に、議案第98号について、ある委員より、「多額の剰余金を出し、多額の基金を保有しているのは、高い保険料の結果であり、保険料の減額や利用料の減免を求めてきた立場から認定には賛成できない」

次に、議案第101号について、ある委員より、「後期高齢者医療制度は、満年齢75歳を迎えた人を、国保や健保から強制的に切り離し、負担増と差別医療を強いる最悪の医療制度であり、高齢者を大切にしない政治に未来はない。高齢者の命と健康を守る立場から認定には賛成でき

ない」

最後に、議案第105号について、ある委員より、「水道料金使用料などに消費税が転嫁されているので賛成できない」との討論がなされました。

また、各分科会主査報告におきまして、次のような意見・要望がありましたので申し添えます。

最初に、総務分科会であります。

まず、議案第92号に関しまして、①平成30年度の市税徴収率について、現年分99・52%と過去最高の徴収率となっており、大変素晴らしいことである。しかし、窓口での職員対応に不満を持っている人の声も聞くので、真心のある対応を心がけていただきたい。

②ふるさと納税について、西都市の財源確保には重要な事業であると同時に西都市の農畜産物をPRするだけに留まらず、住みよい西都の知名度を上げるチャンスなので、積極的に推進して欲しい。今後は、本市の特性を生かした商品開発や、農畜産物のブランド化を推進し、返礼品の研究を推進していただきたい。

③新庁舎建設について、庁舎本体は

令和3年3月に完成が予定されている。一般道や、学校等と隣接しているの、工事期間中は、工事現場内はもちろん市民に対しても危険が及ばないように安全対策に配慮していただきたい。

④マイナンバーカードについて、総務省は令和4年度中には普及率100%を目指しているとの事であるが、普及推進にあたっては、市民がマイナンバーカードのメリットを十分理解できるように、発信を工夫してほしい。

⑤消防団員について、年々団員の減少や高齢化が進んでいる。そのことを踏まえ、消防署定員や広域連携等、様々な研究検討をしてほしい。

⑥一部の事業について、多くの不用品が計上されている。事業によっては、不測の事態に備えておかなければならないものもあると思うが、決算見込で減額補正を行うなど、適切な予算管理に努めていただきたい。との、意見・要望がなされたところであります。

次に、文教厚生分科会であります。まず、スポーツ振興課について、①スポーツ振興課は、施設管理部門

と、振興部門を区別し、教育委員会所管にしていきたい。

②プロサッカー等のキャンプ誘致を行い整備された施設の有効活用と活性化対策に努力していただきたい。

③予定されている西都原運動公園野球場の整備後に、記念大会等を開催していただきたい。

次に、生活環境課であります。

①防犯対策を図る為にも、防犯灯のLED化を促進していただきたい。

②免許更新の改善と交通安全協会加入促進対策を図っていただきたい。

次に、健康管理課であります。

①各種検診の受診率向上に努めていただきたい。

②子どもにも課税される『均等割』を廃止するなど、国民健康保険税や介護保険料の負担軽減を図っていただきたい。

③健康増進対策、5歳児検診など発達障害児対策を図っていただきたい。そのためにも不足している保健師採用を図っていただきたい。

次に、福祉事務所であります。

①福祉事務所所管には、様々な制度や事業があり、市民にはわかりにくい面が多くあるようにある。市民に

直接関係ある内容をピックアップして、高齢者や幼児・児童等に区分して、内容や問い合わせ先などを示したパンフレット・リーフレット等を作成し、市民への情報提供をしていただきたい。

②子どもの医療費助成については高校卒業まで拡充していただきたい。

③高齢者福祉・交通弱者対策として乗り合いタクシー事業については運行地域を拡充していただきたい。

④社会福祉協議会の職員が懲戒解雇処分を受けた問題は、いまだ解決されず、そのことが原因で、昨年度予定していた法人後見事業が実施されていない。一日も早く解決し、社会福祉協議会としての責任を果たせるよう指導・監督していただきたい。

⑤昨今、全国的に幼児・児童への悲惨な虐待が毎日のように報道される世の中になっている。本市でも発生しないとは限らないので、大事に至らないように常に各関係機関が密な連携をとれるように心がけていただきたい。

次に、社会教育課であります。①ドキメンタリー映画『銀鏡SHIRROMI』、尾八重神楽のユネスコ

無形文化遺産登録に向けた取り組み、公民館講座の充実など、文化・芸術の振興と発展への取り組みを図っていただきたい。

②都於郡城跡ガイダンスセンターについては、地元・関係者との合意形成を図り、一日も早く、設置への方向性を出していただきたい。

③公共施設については安全で適切な管理運営がなされるよう、中長期的な改修計画を立てていただきたい。

次に、地域医療対策室であります。

①西都児湯医療センター託児所においては、経費のほとんどの約9割が市の補助金で賄われている。検討・見直していただきたい。

②西都児湯医療センター託児所については、提供している旧教職員住宅跡へ移転を図り市が補填している赤字部分の負担軽減を図っていただきたい。

③東米良診療等については、地域医療対策室から切り離し、新病院建設や24時間救急医療の実現に向けた諸課題への取り組みができるよう体制の見直しをしていただきたい。

④西都市立診療所の東米良診療所・銀鏡診療所・へき地巡回診療所の平

成30年の実績を見ると、大半が人件費に費やされ大幅な赤字となっている。診療所の自助努力も含め地元の方たちの率先した利用を促していただきたい。

次に、教育政策課であります。

①子育て支援対策として学校給食費への補助を実施していただきたい。

②部活動指導員や非常勤講師の人材を確保し学校教育の充実を図っていただきたい。

③コミュニティ・スクール制度を活かし、地域とともにある学校づくりを進めていただきたい。

④中学校再編については、ますます生徒数が減っていくなか、学校再編検討委員会の協議が行われているが、十分な議論と先進地の事例を参考にし、1年でも早く再編に向けた議論と市民への周知を図っていただきたい。

次に、不用額についてであります。

①不用額の理由が理解できない事項が見受けられた。理由の明記には十分考慮していただきたい。

との意見要望がなされたところであります。

最後に、産業建設分科会でありま

す。

①農業行政について、本市の基幹産業である農業を取り巻く環境は、農家の高齢化や人口減少により担い手や新規就農者不足が深刻化し、農業生産力の減退、遊休農地の増大等が懸念されている。これからの農業の振興を図るためには、環境変化を的確にとらえ、農地の維持確保や人的資源の確保、新たな技術革新の推進など総合的に推進する必要がある。このため農業委員会においては、これらの取り組みを加速するため、農業委員及び農地利用最適化推進委員の更なる資質向上に積極的に取り組んでいただきたい。また、現在農業行政は、農政課、農地林政課、農業委員会において行われているが、今後総合的な農業政策を実行するため、3課の更なる連携強化を図り、各組織の機能等を検証しながら、関係機関、団体等との目標共有、連携、役割分担による総合的な農政推進体制を構築していただきたい。

②さいとこゆ観光ネットワークの活動は、口蹄疫からの復興支援策として、本市の食の大運動会と児湯地区の鍋合戦をメインイベントに実施さ

れてきたが平成30年度で終了することとなった。今後、これまでの活動の成果をさらに発展させるために、西都・児湯地域の広域ネットワークを活用した食のPRや移住促進など新たな取り組みを検討いただき、継続性のある事業展開を要望したい。

③住宅使用料未収金について、過年度については本人に催告文書を送付しているが、連帯保証人には送付していないとのことである。市民に対しての公平性を保つためにも過年度の未収金については連帯保証人まで催告文書を送付していただきたい。

以上が各分科会が出された主な意見・要望であります。

可決された意見書

国土強靱化対策の推進を求める意見書

(提出先)

衆議院議長・参議院議長・
内閣総理大臣・財務大臣・
国土交通大臣・内閣官房長官・
総務大臣・国土強靱化担当大臣

◆編集後記◆

9月議会とは、決算を含め、1ヶ月と長期間審査となりました。今回11名の議員が一般質問を行いました。主に新病院建設や人口増対策・防災対策など市政の取り組みについて議論されたところで、この3日間の一般質問には、区長さんをはじめ114名の方が議会傍聴に来ていただき議員一同深く感謝申し上げます。多くの皆さんが、傍聴に来ていただくことは、行政状況の把握ができるとともに議員としても自覚と責任感を強く感じることができました。多くの皆さんに傍聴していただける親しみのある議会に努めてまいります。

―議会報編集委員会―

委員長	荒川敏満
副委員長	山地将生
委員	村上修乗
	濱砂磐
	曾我部貴博
	太田寛文
	田爪淑子
	北岡四郎
	狩野保夫